

中高生「広島～山口～津和野巡礼の旅」に参加して

8 / 7 (金) ~ 9 (日)

8 / 7 (金)

8時12分、住吉駅を発った一行17名(神父様、リーダー、中高生+小学生+)は、JRの青春18切符で快速、新快速、普通電車を乗り継ぎ14時11分広島駅到着。市電で熾町教会(広島教区カテドラル、平和記念聖堂)に。主任司祭の後藤神父様は赤波江神父様の神学校時代からの友人。大きな元気なお声でよく来たかと大歓迎して下さいました。聖堂は夕方開催の(10年続いた)南こうせつさんの平和コンサートのリハーサル中。地下聖堂で後藤神父様から神様のお話をたくさん聞き、お二人の司式ミサにあずかりました。荷物を置いて後、前日式典の行われ



れた平和記念公園へ。じりじりと照りつける真夏の太陽の下、ボランティアの方から原爆投下当時の凄まじい様子を聞きました。「戦争を知らずに育った子供達とリーダー達」にもその凄惨な様子はひしひしと伝わり、犠牲者を悼み、平和な時代に生きている事に感謝すると共に、三度過ちは繰り返さない思いを込め

て祈りました。夕方の連絡船で行った世界遺産の宮島、夜の祈りの時に一人一人語った夢・・・「まるで1つの家族のように兄弟のように思える。」と喜ばれた神父様方と共に感謝の祈りを捧げました。

8 / 8 (土)

早朝、後藤神父様は平和記念聖堂の鐘楼に案内して下さい、平和の鐘に触れ広島の町を一望。ミサに参列の後・・・山口へ。赤波江神父様がゲットして下さいだったSL山口号プレミアムチケットで一路津和野へ。途中、鉄道カメラマン達が列をなしてシャッターチャンスを狙う中をSLはのんびりと蒸気を出しながら旧き時代へタイムスリップ走行。



津和野教会では、ずっと昔、アメリカから日本に帰化された木村神父様(神戸にもいらしたそう)のお迎えを受けいよいよこの旅の目的である巡礼です。谷川に沿って静かな山道をしばらく登ると乙女峠に。キリシタン弾圧の下、浦上から

送られた多くの信徒が殉教した地・・・この土には信仰を守り抜いたどれほど多くの人々の苦しみが沁み込んでいるのだろうか・・・マリア聖堂でミサを捧げ、山の奥にと続く十字架の道行きで祈りを唱えながら「喜んで下さい。今この国では、信仰はこんなに自由なのです。」と亡き方々に伝えました。大浦天主堂と同じ形の祭壇前の畳に正座して、木村神父様も共に受けてくださった夜の祈りも心洗われるものでした。

8 / 9 (日)

今日は長崎原爆投下の日。この平和の為の巡礼最後の日。・・・朝ミサ時の霧雨も上がり、教会前の小川の見事な鯉にお別れをして津和野を出発。18切符で神戸まで列車を一日中乗り継いで帰る日です。

途中、山口でザビエル記念聖堂訪問。数年前に焼失の後再建された近代的な新聖堂には、ザビエルの聖遺物が安置されていました。信徒の方々は、今日は墓地でミサとの事。静かな聖堂で平和に感謝しながら主の祈りを捧げました。

この旅の間、リーダーの指導の下、団体行動を大切にして、一つの家族、兄弟のように巡礼する姿がまさしくそこにありました。この3日間に各地でどれほど多くの祈りを捧げたことでしょうか。主に守られどれほど多くのお恵みを頂いたことでしょうか。皆で心を一つにして祈ったこの巡礼の旅が夏休みの大切な宝となりますように。

広報